

企業版ふるさと納税を活用した 北海道の社会課題解決の取組み

地球の恵みを、社会の望みに。



2024年12月12日
エア・ウォーター北海道株式会社
事業企画部 企画グループ 高橋 麻衣子

エア・ウォーター北海道株式会社の概要

商号 : エア・ウォーター北海道株式会社
設立 : 1978年(昭和53年)7月1日
代表者 : 代表取締役社長 庫元 達也
本社所在地 : 札幌市中央区北8条西13丁目28-21
資本金 : 20億円 (エア・ウォーター株式会社100%)
売上収益 : 連結1,059億円 (2024年3月期)

あと3年で

50年

商号 : エア・ウォーター株式会社
設立 : 1929年(昭和4年)9月24日
代表者 : 代表取締役会長・CEO 豊田 喜久夫
本社所在地 : 大阪市中心区南船場2丁目12番8号
売上収益 : 連結 1兆245億円 単体 1,455億円 (2024年3月期)
グループ会社数 : 267社／うち連結子会社183社 (2024年3月末時点)

あと4年で

100年

北海酸素株式会社 (1929年)



事業毎の「特徴」「専門性」を活かして、**4つ**のメイン事業を中心に展開

デジタル&インダストリー（産業事業）



製鉄所、自動車製造工場、飲料メーカーなどの工場を中心に、水素、酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガスなどのガスを販売、最近では半導体工場向けロジスティクスサービスを開始しました。

エネルギー&ソリューション（エネルギー事業）



LPガス、灯油、LNGなど、生活エネルギーソリューションを幅広く展開しています。その他にも、家畜ふん尿由来のエネルギープラットフォーム構築を手掛けています。

ヘルス&セーフティ（医療事業）



病院の医療ガスの供給、手術室のガス配管の一括請負など、病院特有の設備工事を手掛けています。また、介護・福祉施設を中心に衛生材料など、多彩な製品・サービスを提供しています。

アグリ&フーズ（農業・食品事業）



農作物の栽培・調達から加工・販売といった「畑から食卓まで」の一環体制を構築しています。自社工場で道産野菜を冷凍加工し、南瓜や大根おろしは全国トップクラスのシェアです。

社会課題解決を通じた新たな企業価値の創造が エア・ウォーターグループの目指す姿

エア・ウォーターグループは2030年度に目指す姿として成長方針「terrAWell30」を設定しています。「terrAWell30」では、「**地球環境**」と「**ウェルネス**」という2つの成長軸に沿って、多様な事業・人材・技術を創造的に掛け合わせることで生み出されるシナジーによって「**社会課題の解決を通じた新たな企業価値の創出**」を目指しています。

イノベーション施設 エア・ウォーターの森



社会課題
解決の取組み

自治体への寄付制度 ふるさと応援Hプログラム



北海道の現状

悪循環

人口減少・少子高齢化

- ・札幌や都市部への人口集中（地方は人口流出）
- ・地方には高齢者が残る

経済活動への影響

- ・公共サービスの利用者の減少
- ・地方における消費者・生産者が減少

地域産業への影響

- ・労働力不足による生産量の減少や事業の撤退
- ・高齢者サービスのコスト上昇

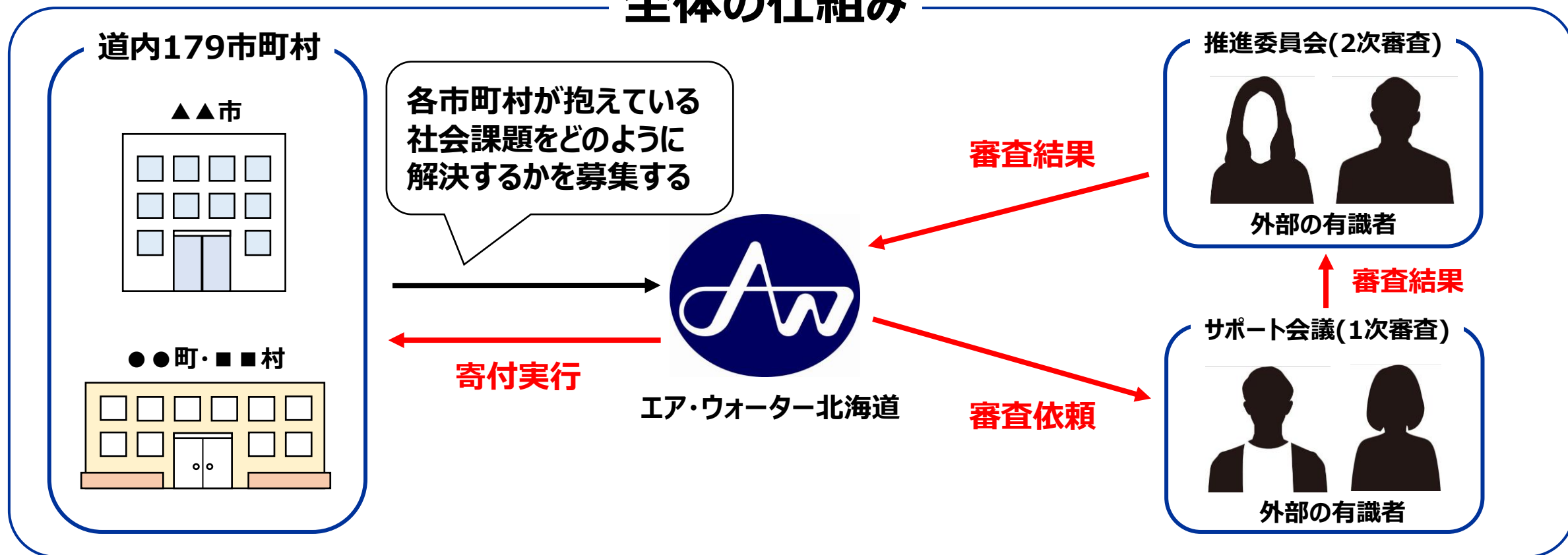
インフラ・サービスの低下

- ・インフラの維持が困難、公共サービスの質低下
- ・働き口の不足

北海道の皆様にて育てられた企業、そして、北海道を舞台に新たな成長を志向する企業として、社会課題を解決し、この悪循環を断ち切り、「**地域の住民の安全・安心で豊かな暮らしの実現**」のために、このプログラムを創設しました。

社会課題解決に取り組んでいる市町村に寄付する制度

全体の仕組み



ふるさと応援Hプログラムの特徴

1. 長期間の取り組み（仕組み化）

2023年度から2030年度までの**8年間**で総額**10億円**を上限として寄付いたします

2. 応募条件

事業費が少額の事業でも応募可能であり、複数の市町村が共同で実施する場合の事業も対象です

	応募上限数	寄付金上限	応募条件
一般事業	1事業	1000万円	なし
追加事業	1事業	300万円	事業費が300万円以内など
共同事業	制限なし	1000万円	複数の市町村が共同で事業を実施する場合

3. 実績報告の提出と実績報告会の実施

寄付後の事業の進捗状況を報告いただいております

- ・事業状況を他の市町村にも知っていただき、取り組める事業は実施してほしいという想いからホームページで公表しています。
- ・過去に寄付した事業の中から、他の市町村でも参考になるような事業には、実際に発表していただく機会を設ける予定です。



ふるさと応援Hプログラム ～2023年度の実績～

2023年度採択市町村

2023年度実績

応募自治体数	46 市町村
応募事業数	52 事業
寄付自治体数	18 市町村
寄付総額	11,335 万円



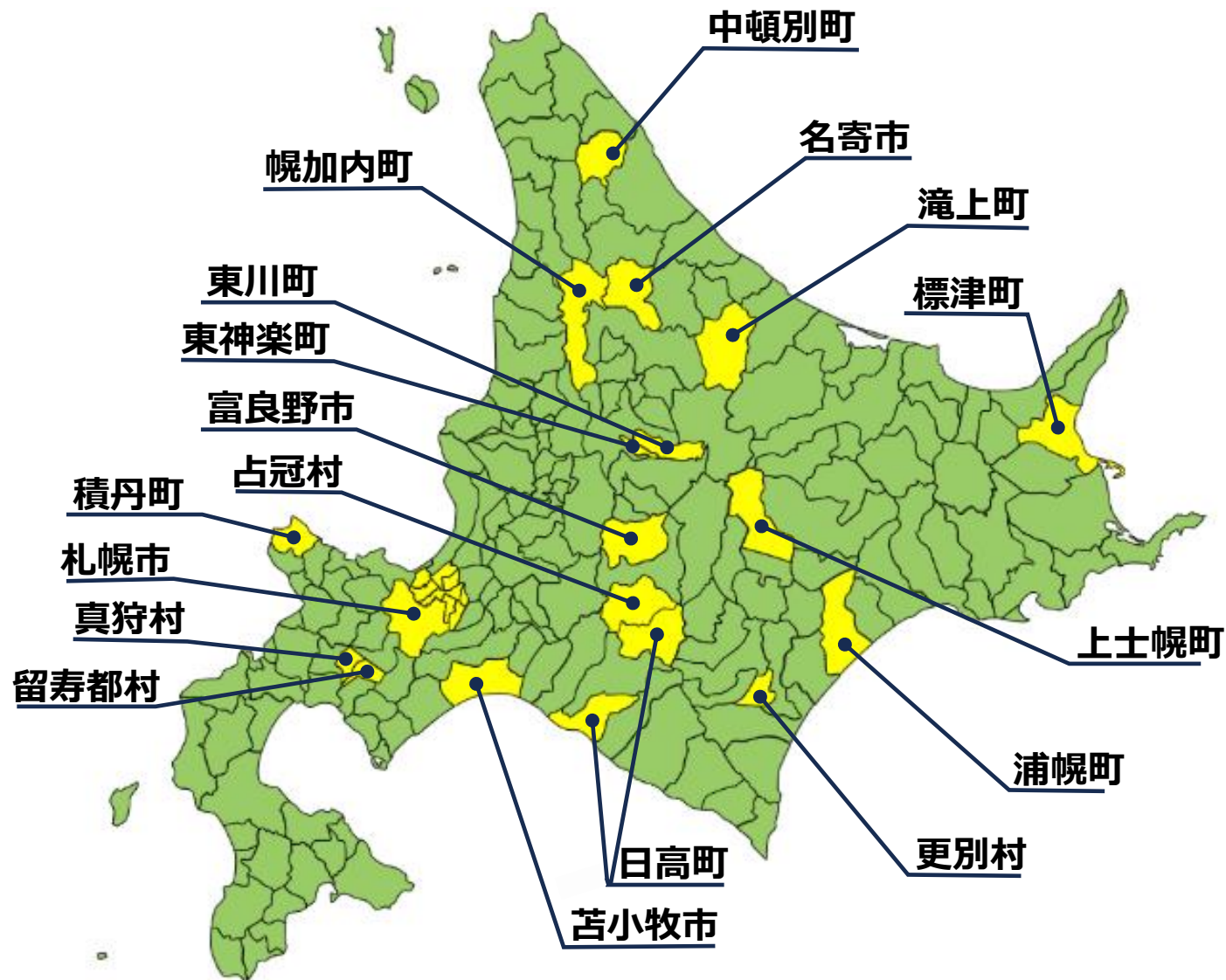
更別村



浦幌町



占冠村



2023年度に採択した事業一覧 ～18事業～

市町村名	寄付金 (万円)	事業名
東川町	754	ライスレジンごみ袋導入事業
東神楽町	700	花のまち東神楽町で世界最小の花が咲く「ウォルフィア」を特産品にする事業
幌加内町	700	幌加内町ソバ循環における新素材開発
苫小牧市	700	北海道食の輸出入で創る「まちづくり」
真狩村	700	まっかりオーガニックビレッジ推進事業
積丹町	700	ウニ殻活用を起点とする資源・経済の循環推進事業
上士幌町	700	上士幌町における自動運転バスの社会実装
滝上町	700	閉校校舎のリノベーション×木質バイオマス等の再生可能エネルギー×産業創造を進めるローカルイノベーション実現に向けた調査事業
浦幌町	700	浦幌町未来づくり事業（うらほろマラソン「キッズチャレンジ」を核とした子どもたちと地域の「ウェルネス」への貢献）
更別村	700	更別村スーパービレッジ構想推進事業におけるコミュニティナース事業
名寄市	700	地域資源を生かした健康づくりエコシステム形成事業
占冠村	700	村の木活用事業
中頓別町	700	地域公共交通事業
富良野市	649	「リサイクル率90%のまち」ふらの“”枝草ごみ資源のバイオ炭化による地域内資源循環事業
標津町	560	標津町新たな林産物資源開発事業＜“鮭ちょうちん”プロジェクト＞
札幌市	500	ウェルネス共創プラットフォーム構築事業
留寿都村	420	「ルスツみどりの食料システム」の創出にむけたMUSCAシステム適用の可能性に関する調査・検証試験事業
日高町	52	見てみよう！調べてみよう！自然観察キットと図書貸出事業

2023年度採択事業 ～実績報告ホームページ～

地球の恵みを、社会の望みに。



選定事業の実績報告（2024年9月末現在の進捗状況）

東川町

2023年度選定事業

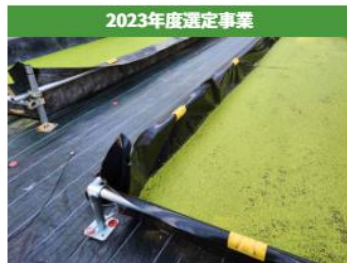


資源米由来のごみ袋「ライスレジ」の製作

[詳細をみる](#)

東神楽町

2023年度選定事業



食用高タンパク植物「ウォルフィア」を町の新しい特産品として展開

[詳細をみる](#)

幌加内町

2023年度選定事業



幌加内高等学校とベンチャー企業によるそば殻などの未利用資源を活用し、新たな価値の製品を開発

[詳細をみる](#)

苫小牧市

2023年度選定事業



プラチナ触媒を活用した長期保存や微生物の抑制制御技術の確立などのフードロス削減

[詳細をみる](#)

真狩村

2023年度選定事業



真狩高等学校による有機農業の推進と有機食品の開発・商品化

[詳細をみる](#)

積丹町

2023年度選定事業



ウニ殻を活用した藻場造成や昆布餌料の製造など有効利用を検討

[詳細をみる](#)

幌加内町

事業費

1,000万円

寄付額

700万円

寄付企業

エア・ウォーター北海道・産業ガス株式会社



幌加内高等学校とベンチャー企業による そば殻などの未利用資源を活用し、 新たな価値の製品を開発

本事業は、幌加内そばの製粉の際に排出される、そば殻、甘皮（3番粉）などの未利用資源を活用し、地域内に価値を還元させ、且つ首都圏での販売など幌加内町認知向上を狙った新たな循環モデルを構築することを目指します。

協業先であるfabulaは「ゴミから感動をつくる」ことをビジョンに掲げ、新素材をつくる東京大学発ベンチャー企業です。食品廃棄物からコンクリートより強い素材をつくる独自技術を所有しており、そばの未利用資源から建材や家具など生活に繋がる製品の開発が可能です。北海道幌加内高等学校（農業科）の学生と共に、同社の技術「そばの町幌加内」を象徴とする新たなプロダクトを製造開発します。



例として、そば殻からコースターや建築タイルを製造し町内のそば屋や施設で使用していただくことを想定しており、その後町外へも流通・展開させていきます。幌加内高等学校を卒業した「幌加内町ソバ循環プロジェクトプロデューサー 石川朋佳」と提携しています。

現在の進捗状況

幌加内高等学校（農業科）にて、年間をととしての共同開発プロジェクトチーム（T×Hプロジェクト）を発足させ連携をしました。幌加内町内のそば事業者、役場職員、農業技術センター職員・観光協会職員が幌加内高校生と共に、幌加内町内の課題に向き合い、商品開発を行っております。生徒に課題を提示しながらプロジェクトを推進中です。

現在の進捗状況は主に下記が完了しております。

エア・ウォーター北海道は、社会課題の解決のために取り組んでいます

イノベーション施設 エア・ウォーターの森



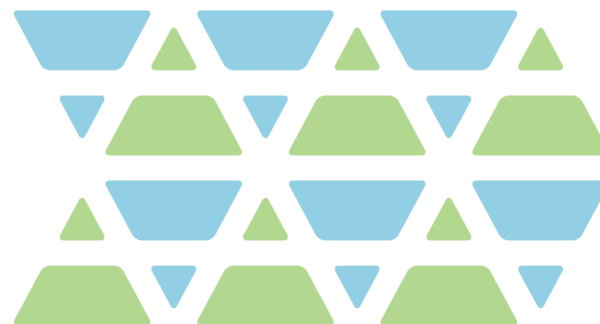
2024年12月開業

自治体への寄付制度 ふるさと応援Hプログラム



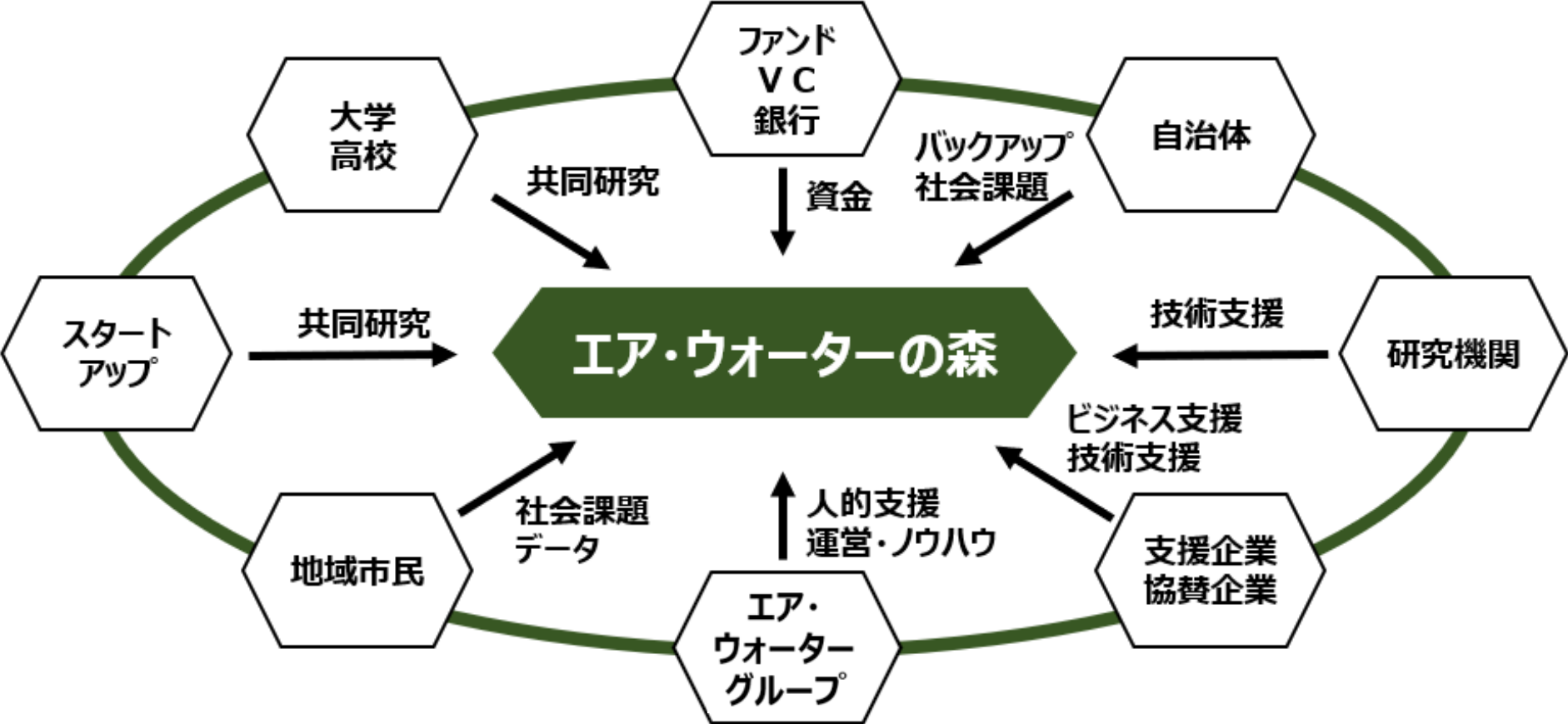
2023年度から2030年度まで10年間

イノベーション施設 エア・ウォーターの森のご紹介



エア・ウォーターの森が社会課題解決の中心地

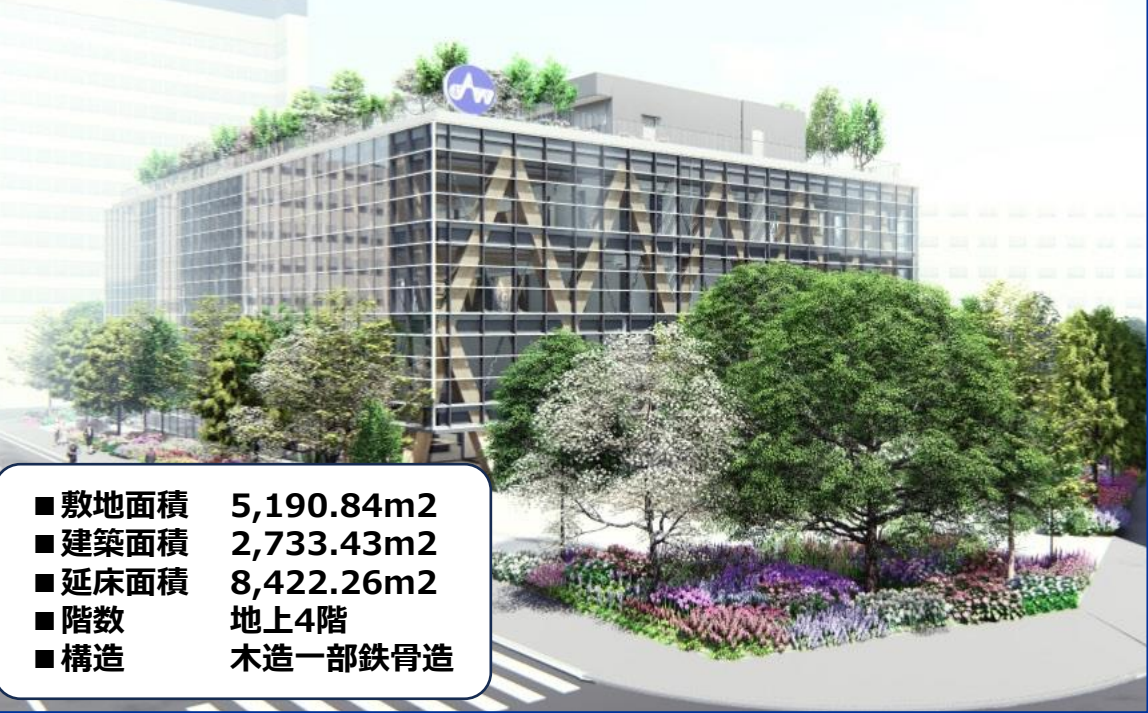
北海道の社会課題を解決するために英知を結集する施設



建物のコンセプトと建物の特徴

設計コンセプト

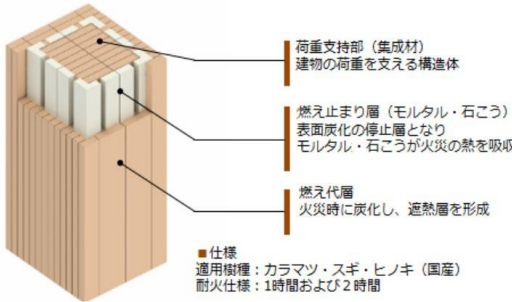
人と自然（光・風・水・緑）、場所と場所がさまざまなカタチで
つながりあい、多様なコミュニケーションを通してウェルネスを感じる
森のような場



- 敷地面積 5,190.84m²
- 建築面積 2,733.43m²
- 延床面積 8,422.26m²
- 階数 地上4階
- 構造 木造一部鉄骨造

建物の特徴

耐火集成材「燃エンウッド®」採用
(竹中工務店)



CASBEE®スマートウェルネスオフィス
Sランク (87.0点)



CASBEE®総合環境性能
Sランク



エネルギー消費性能
ZEB Ready



エア・ウォーターの森でイノベーションを生み出す仕組み

多くの人が交流することで、**新しい概念と価値を生み出す**

